

小麦品種「銀河のちから」におけるコムギ赤かび病の防除回数

【1 成果の概要】

- (1) 「銀河のちから」の赤かび病の発生量は、無防除条件下では「ナンブコムギ」と比較して同程度～やや多くなりますが、1～3回の防除実施条件下では、いずれの防除回数でも「ナンブコムギ」と同程度です（図1、2）。
- (2) 「銀河のちから」の赤かび病菌産生毒素濃度は、1～3回の防除実施条件下では、「ナンブコムギ」と同程度～やや低く、暫定基準値（1.1ppm）未満になります（データ省略）。
- (3) 以上より、「銀河のちから」の赤かび病防除は、表1のとおり「ナンブコムギ」と同様に開花期の1回防除を基本とします。

表1 小麦品種別の防除適期

品種名	赤かび病抵抗性	防除適期		
		開花期 (1回目散布)	1回目散布の 7～10日後	2回目散布の 7～10日後
ナンブコムギ 銀河のちから	中	必須	状況に応じて 追加散布	—
ゆきちから	やや弱	必須	必須	状況に応じて 追加散布

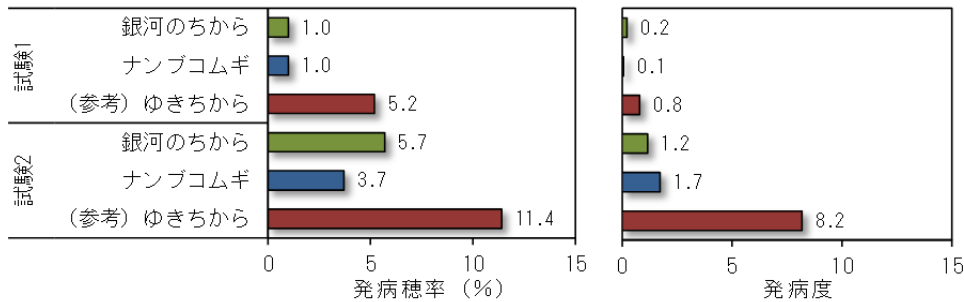


図1 無防除条件における各品種の赤かび病発生量（試験1：平成26～27年、試験2：27～28年）

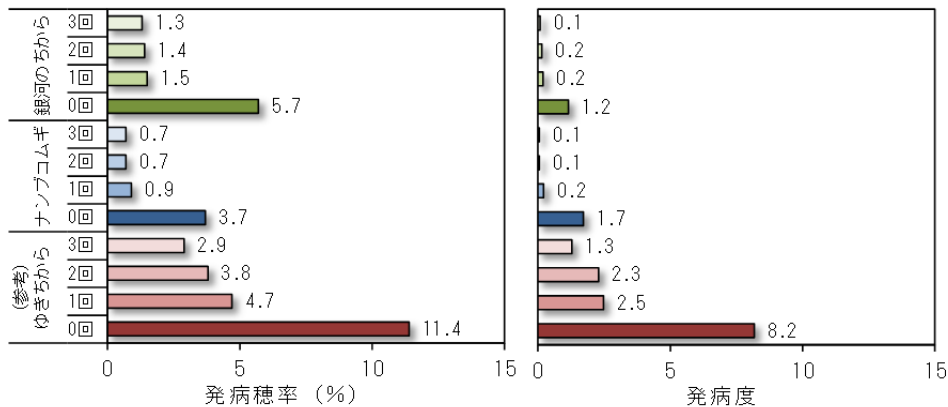


図2 品種・防除回数と赤かび病発生量の関係（試験2：27～28年）

【2 留意事項】

- (1) 本試験は病原菌を接種し、赤かび病が発生しやすい条件下で実施しました。
- (2) 開花期以降に曇雨天が続く場合には、「ナンブコムギ」「銀河のちから」では1回目散布の7～10日後に、「ゆきちから」では2回目散布のさらに7～10日後に追加散布を実施しましょう（表1）。
- (3) 同一薬剤の連用または同系薬剤の連用は、耐性菌の生じる恐れがあるので、防除薬剤の選定にあたっては防除指針を参考に、効果の高い薬剤を輪番で使用しましょう。